

ボストン湾(港)再生(米国)

ボストン湾再生プロジェクトは、関連都市数 43、計画人口約 200 万人、企業数約 5,500 社、工期 11 年、総事業費約 38 億ドルという米国最大規模の下水道事業である。1997 年に設立された米国マサチューセッツ州水資源庁は、関連 43 都市の利害を調整するだけでなく、自ら多くの専門スタッフを抱えてプロジェクトを実施し、さらにそのプロジェクトに必要な財源を確保するための大がかりな市民を巻き込んだ運動(パブリック・インボルブメント)を成し遂げた。

ボストン湾再生プロジェクトは、ボストン湾の水環境を格段に改善し、流域の人々に自身と誇りをもたらすとともに、地域経済の活性化にも寄与しているといわれている。

◆ 再生のポイント

- 湾岸の水辺再生と地域活性
- 下水道改善による湾(港)の浄化
- 水辺とダウンタウンを分断する高架の高速道路の地下化

◆ ボストン湾概要

ボストン湾プロジェクトがスタートした 1980 年当時のボストン湾はアメリカ国内でもっとも汚い湾だと言われており、水泳はもとより、漁場としても不適切で、プレジャーボート利用者にとってさえ危険を及ぼしかねないとまでも言われていた。

このボストン湾を浄化しようとする取り組みは、クインシー市のある市議会議員がボストン湾への排水に係る水道関係部局を連邦水質浄化法違反で訴え、1982 年になってようやく始まった。



Boston Bay

◆ 再生のために実施された事業

【湾岸の水辺再生と地域活性】

アメリカで最も汚れていると言われてきたボストン湾の水辺の再生を進めるために、市民とともに成し遂げた自信は、地域の人々にボストンという都市への愛着を強め、湾の再生から水辺の再生、さらには地域の経済の活性化にも寄与してきたと言われている。

【下水道改善による湾(港)の浄化】

水辺再生のための中心となった手法は、米国最大(総事業費 38 億ドル)の下水道事業の展開であり、連邦裁判によるボストン湾の水質改善命令に始まり、市民の側もボストン湾の浄化のために大幅な下水道料金の値上げに合意した。

【高架高速道路の地下化】

それまでダウンタウンと水辺を分離していた高架高速道路の地下化を進めることによって、水辺地域と後背地の都市部との一体的な整備を進めることができた。また、高速道路の地上のオープンスペース整備のコンペが終わり、土地の有効活用が市民を巻き込んで行われた。



「デザインされた都市:ボストン」
神田・小林、1991より

